

数学

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	6題
------	------	-------	----

解答形式

全問穴埋式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

受験生を戸惑わせるような表現や設定が多い。計算力を要する問題が多い。
前年は難問が3題あったが今年は2題に減った。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

問題IIでアルキメデスの取り尽くし法が出た。無限等比級数を知らないとは厳密に扱えない。

問題Vで立体図形の問題が出た。

問題VIで遺伝子対の問題が出た。入試改革の方向性を踏まえた出題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I (1)	式と証明	数学II	楕円の媒介変数表示または相加平均と相乗平均の大小関係	易
(2)	集合と論理 式と証明	数学I 数学II	部分集合の個数	易
(3)	集合と論理 式と証明 指数	数学I 数学II	部分集合の個数 桁数、最高位、最下位桁の数	標準
II	図形と方程式 積分法	数学II	1/6 公式 アルキメデスの取り尽くし法	標準
III	数列	数学B	偶、奇で場合分けの必要な漸化式	標準
IV	高次方程式 整数	数学II 数学A	3次方程式の整数解 3次方程式の解と係数の関係	標準
V	図形と計量	数学I	立方体の各頂点から三角錐を除いてできる立体の体積、表面積	やや難
VI	確率	数学A	条件つき確率 遺伝子対	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

難しい問題や見慣れない問題と典型的な問題が混在しているので、解きやすそうな問題から解いていくことが大切である。

一見すると見慣れないタイプの問題でも、題意をしっかりと読んで対応すると、よく知られている事柄であることに気づかされることも多い。

立体図形、平面図形（和算含む）、離散数学もよく出題されるので、この分野の問題もたくさんこなしておきたい。

計算量が多いので、早く正確に解く練習も必要である。